

# ぎんが 月報

加古川市議会事務局

内線:3721~3723 平成20年4月1日 No.426

## 第1回市議会定例会を開催

第1回定例会は2月28日に開会され、平成20年度当初予算をはじめ市長提出案件61件を原案のとおり可決し、3月25日に閉会しました。

## 一般会計当初予算を可決

総務費のうち、総務管理費における財政調整事務事業の投資及び出資金1,700万円について、内容を質問したのに対し、理事者から「公営企業金融公庫が廃止されることにより、新たに創設されることとなった地方公営企業等金融機構への出資金であり、その出資額は、公営企業金融公庫からの借入残高と標準財政規模に応じて決定されたものである」との答弁がありました。

防災・生活情報ネットワーク整備事業252万3,000円について、登録状況を質問したのに対し、理事者から「平成20年3月3日現在の登録者数は、防災ネットかこがわが8,723名、子ども安全ネットかこがわが2,679名、消防情報ネットかこがわが1,040名である」との答弁がありました。

加古川市連合婦人会活動支援事業の負担金補助及び交付金40万円について、内容を質問したのに対し、理事者から「連合婦人会の子育て支援事業、地域の安全・安心見守り事業などの活動を支援するものである」との答弁がありました。

相談事業1,026万7,000円に関連して、多重債務の相談体制を質問したのに対し、理事者から「平成19年10月の開設時より、相談員2名、職員3名で対応しており、引き続き現体制で実施していく予定である」との答弁がありました。

スポーツメッカづくり創出事業の委託料500万円について、内容を質問したのに対し、理事者から「その主な内容は、女子バレーボールのVプレミアリーグに加え、日本バスケットボールの男子

リーグ戦の開催、また、ドリームサッカーとして、元日本代表チームと地元チームとの親善試合やサッカー教室の開催などである」との答弁がありました。

徴税费における市税過誤納金還付事務事業5億3,797万6,000円について、内容を質問したのに対し、理事者から「平成19年中に所得が減少し、所得税が課税されない納税者について、税源移譲の初年度における税負担増とならないようにするため、平成19年度の市県民税を減額して還付するものである」との答弁がありました。

民生費のうち、社会福祉費における自立支援事業10億7,571万4,000円について、平成19年度と比べ3,191万6,000円増額となっている理由を質問したのに対し、理事者から「障害福祉サービスの利用者が増加していることから、就労の訓練等給付における伸びを見込んだことが主な理由である」との答弁がありました。

老人福祉費における地域介護・福祉空間整備事業3,000万円について、内容を質問したのに対し、理事者から「在宅介護を推進するため、デイサービスやホームヘルパー派遣などを一体的に行う、小規模多機能型居宅介護施設を整備しようとするものである」との答弁がありました。

児童福祉費における少子化対策推進事業の委託料173万3,000円について、内容を質問したのに対し、理事者から「平成22年度からのエンゼルプラン後期計画の策定に向け、前期計画の検証や子育てに関する要望の把握を行うため、市民へのアンケート調査などを実施しようとするものである」との答弁がありました。

衛生費のうち、保健衛生費における健康調査事業300万円について、実施時期を質問したの対

し、理事者から「現在、調査方法や対象者、問診票の内容等について検討しており、できるだけ早期に実施していきたいと考えている」との答弁がありました。

環境測定機器整備事業の備品購入費1,888万9,000円について、内容を質問したのに対し、理事者から「平荘測定局の移転に伴う機器の整備、及び各環境測定局における測定機器を更新するものである」との答弁がありました。

労働費のうち、労働諸費における勤労者福祉共済制度運営事業3,090万円について、制度の周知方法を質問したのに対し、理事者から「BAN-BANテレビ・ラジオ等、地元メディアの活用やホームページへの掲載、また、加入推進員による未加入事業所への訪問を行っている」との答弁がありました。

若者就職支援事業の委託料36万円に関連して、OA講座受講後の就職支援の内容を質問したのに対し、理事者から「男女共同参画センターにおいて、若者しごと倶楽部サテライト播磨を開設しており、相談員が就職希望者との面談等を行っている」との答弁がありました。

農林水産業費のうち、農業費における見土呂フルーツパーク活性化事業1,800万円について、内容を質問したのに対し、理事者から「その主な内容は、フルーツパーク内のウォーキングセンター南側斜面に芝すべりの丘を整備することや、よりわかりやすい案内板を設置することなどである」との答弁がありました。

商工費のうち、観光費における加古川まつり事業の委託料4,000万円について、平成19年度と比べ645万円増額となっている理由を質問したのに対し、理事者から「昨年の花火大会において、初めて入場制限を行うなど、来場者数が増加しており、安全確保のための警備員の増員や、トイレの増設等の環境整備が必要となったことが主な理由である」との答弁がありました。

土木費のうち、都市計画費における中心市街地整備事業531万2,000円について、防災まちづくり調査の区域を質問したのに対し、理事者から「北

はJRの側道、東はベルデモール、西は県道加古川別府港線、南は国道2号に囲まれた区域を想定している」との答弁がありました。

指定道路図及び指定道路調書調整事業3,040万円について、内容を質問したのに対し、理事者から「建築基準法施行規則の規定により、全国的に統一された所定の地図及び調書を2年間で作成するものである」との答弁がありました。

建築審査行政に要する一般的経費645万8,000円に関連して、建築基準法の改正に伴う影響を質問したのに対し、理事者から「国土交通省によると、改正直後は全国的に確認申請件数が大幅に減少したが、今後は回復してくるとの予測である。本市においては、戸建住宅の着工割合が多いことから、大きな影響はなく推移している」との答弁がありました。

消防費のうち、常備消防費における高度救急事業1,756万1,000円に関連して、夜間急病センター小児科の診察が午前0時で終了した後の対応を質問したのに対し、理事者から「救急件数の増加が懸念されるが、司令室においても病院との交渉を行うなど、早期の病院搬送に努めていきたい」との答弁がありました。

教育費のうち、教育総務費における校種間連携ユニット12事業150万円について、目的を質問したのに対し、理事者から「中学校区をひとつの単位として、保育園から中学校までが連携を図りながら、地域との結びつきや、家族、友人との絆を深め、学力の向上だけでなく、子どもたちの健やかな成長を育むことを目的としている」との答弁がありました。

体験型環境学習事業219万円について、内容を質問したのに対し、理事者から「小学3年生を対象に、16校で実施することとしており、米やさつまいもなどの栽培を通じて、命や環境の大切さを学習するものである」との答弁がありました。

#### 後期高齢者医療に関する条例を制定

これは、法令及び兵庫県後期高齢者医療広域連合後期高齢者医療に関する条例に定めがあるもののほか、本市が行う後期高齢者医療について、必

要な事項を定めようとするものです。

委員から「被保険者及び地方自治体に過大な負担が生じないよう広域連合を通じ、十分な財政措置を国に要請してもらいたい」との意見がありました。

▼▲▼ 代表質問 ▼▲▼

3月6日、7日に行われた代表質問には、7議員が質問に立ちました。

☆神吉耕藏（新政会）

1. 本市経済の活性化施策について
2. 行財政改革について
3. 税の滞納ほか未収金の問題について

☆村上孝義（市民クラブ）

1. まちづくりの基本方針について
2. 施政方針と施策について
3. 施政方針に関連する今後の政策課題について
4. 行財政改革について
5. 教育の基本方針について

☆大西健一（公明党議員団）

1. 平成20年度施政方針について
2. 新年度予算について
3. 新行政改革大綱について

☆西多攻（平成クラブ）

1. 行財政運営について
2. 地域の再生について
3. 職員・人材の活用について
4. 子育て支援について

☆山川博（日本共産党議員団）

1. 自治体のあり方について
2. 住民の健康と安全の確保について
3. 後期高齢者医療制度への対応について
4. 播磨臨海道路計画への対応について
5. 教育行政について

☆井筒高雄（市民ネットワーク）

1. 「安全で機能的なまちをめざして」について
2. 「安心して健やかに暮らせるまちづくりをめざして」について
3. 「教育施策の充実」について
4. 「人と環境にやさしいまちづくりをめざし

て」について

☆西田重幸（無所属クラブ）

1. 加古川市の財政健全化について
2. 加古川市長及び市議会議員選挙の啓発について
3. 加古川市自転車等の放置の防止に関する条例について

▼▲▼ 一般質問 ▼▲▼

3月10日に行われた一般質問には、7議員が質問に立ちました。

☆井上隆司（新政会）

1. 加古川地域の福祉と保健・医療について
2. 公益法人改革について

☆松本裕一（新政会）

1. 安全で安心して暮らせるまちづくりについて

☆新屋英樹（新政会）

1. 加古川市の教育について
2. 就学前教育について

☆渡辺昭良（市民クラブ）

1. 高齢者の医療制度について
2. 新介護保険制度について
3. 救急救命体制について
4. 加古川夜間急病センター小児科医の診療時間の変更について
5. 改正耐震改修促進法の取り組みについて
6. 入札制度の改革について

☆三島俊之（公明党議員団）

1. 「公立病院改革プラン」について
2. 「医療アクセスへの受診マナーの啓発」について
3. 「後発医薬品の使用促進」について
4. 「後期高齢者の健康と医療」について
5. 「特定健診・特定保健指導制度」について
6. 「発達障害児の生涯にわたる支援」について
7. 「保育料の『多子軽減制度』」について
8. 「加古川市有料自転車駐車場」について
9. 「子どもと向き合う時間確保」について

☆広瀬弘子（日本共産党議員団）

1. 市民病院の独立行政法人化反対について

2. ニッケ回遊バス廃止について
3. 後期高齢者医療制度の問題点について
4. 「入れ歯回収ボックス」の設置について

☆中村照子（日本共産党議員団）

1. 多重債務者救済の相談窓口について
2. エルポートの再開について
3. 図書館と指定管理について

■請願

[採択となったもの]

○請願第1号 自主共済制度の保険業法適用見直しを求めることについて

これは、団体が目的の一つとして構成員のために自主的かつ健全に運営されている共済制度について、保険業法附則第2条「経過措置」期間を1年延長することについて、国及び関係機関に対し意見書を提出してもらいたいとの請願です。

■陳情

[採択となったもの]

○陳情第2号 現行保育制度の堅持・拡充、保育・子育て支援施策の推進に関わる国の予算の大幅増額を求めることについて

○陳情第3号 幼稚園・学童保育施策の推進に関わる国の予算の大幅増額を求めることについて

[不採択となったもの]

○陳情第1号 「鳥獣被害防止特措法」関連予算を、鳥獣捕殺ではなく自然林復元と被害防除に使うこと等を求めることについて

■意見書

[可決されたもの]

○自主共済制度の保険業法の適用見直しを求める意見書

○現行保育制度の堅持・拡充、保育・子育て支援施策の推進に関わる国の予算の大幅増額を求める意見書

○幼稚園・学童保育施策の推進に関わる国の予算の大幅増額を求める意見書

各常任委員会における調査事項

■総務常任委員会

～報告事項～

◇新館10階の喫茶事業者変更について

■建設水道常任委員会

～報告事項～

◇加古川駅小門口駐輪場の閉鎖及び寺家町北駐輪場の供用開始について

◇自転車等の放置禁止啓発チラシの作成について

◇志方東公園グラウンドゴルフ場のオープンについて

◇志方東公園遊具のリニューアルについて

～質問事項～

◇新在家68号線について

■福祉厚生常任委員会

～報告事項～

◇中国製ギョウザの取扱について

◇第19回環境対策連絡会について

◇㈱神戸製鋼所加古川製鉄所6号ボイラー定期自主点検について

◇加古川市環境保全協議会について

◇新クリーンセンター火災事故について

◇第1回定例会追加予定案件（市民病院）

■文教経済常任委員会

～報告事項～

◇サッカークラブの加古川市への移転について

◇（仮称）尾上公民館の建設計画について

◇加古川市指定文化財について

3月24日、特別委員会を開催

■議会活性化特別委員会

◇議会広報について

◇議会活動について

★★★ お 知 ら せ ★★★

平成20年4月1日付けで、所属会派の異動がありました。

新屋英樹議員（新）平成クラブ（旧）新政会

▼▲▼ 来 加 状 況（3月） ▼▲▼

28日（金）神奈川県厚木市議会 5名

（新クリーンセンターについて）

\*\*\* 4月の行事予定 \*\*\*

21日（月）各常任委員会

22日（火）議会活性化特別委員会